

北っ子 敷島北小学校だより

令和6年5月28日 文責 学校長 増坪広夫

日本一の学校をめざして

早いもので1学期も半分が過ぎました。4月最初の校長の話で「日本一の学校をめざしましょう」と宣言しましたが学校はどのように変わったでしょうか。学校の大廊下には職員紹介を兼ねて職員の顔写真とスローガンを掲示しました。また学級では個人目標を「〇〇で日本一をめざす」として掲示している学級もありました。言霊の力でしょうか、この「日本一」という響きには大きな力を感じます。なかには「おおげさだな」と感じる人もいるかもしれませんが、「日本一かどうかは自分が決める」ところがポイントで、人と比べるのではなく「自分が一番だと思ふ活動」を行うことに意味があります。



70パーセントの自信×30パーセントの不安

ただ日本一をめざすあまり頑張りすぎてしまうことも問題です。何事も「70%できていればいい」と私は思っています。この70%できたことは自分に自信を与え、新しいことにチャレンジする「勇気」をくれます。残りの30%のできなかった不安は克服するための「努力」を与えてくれるのです。

勉強もそうですが、テストで90点とったとき、70点が目標だと「20点も多くとれたね」と褒めることができますが、100点が目標だと「10点足りなかったね」と残念な言い方になってしまいます。野球の世界では、大打者の大谷翔平選手でさえ打率は3割くらいで、7割（70%）は失敗しているわけです。目標に向かって自分を信じて努力できる人になれることを期待しています。

日本一への児童総会

5月17日（金）に児童総会が行われました。今年度の児童会のテーマは「元気な北っ子、心を合わせて日本一の学校にしよう！」でした。児童会からは、よりよい学校にするために、次の4つの柱が示され、児童総会ではすべて承認されました。

- ① 相手の目を見て、気持ちをこめたあいさつが大きな声でいえる学校
- ② リサイクルにみんなで協力できる学校
- ③ 思いやりのある言葉をかけたり行動できたりする学校
- ④ 無言清掃や下駄箱を整頓できる学校



これらのことを実現するために、あいさつ運動などに取り組んでいます。特にあいさつは「相手の目を見て気持ちをこめて大きな声であいさつする」ことを目標と設定しました。コロナ禍で会話を制限された生活習慣の影響は大きく、地域の見守り隊の方からも「もう少し元気があるあいさつをしてほしい」との要望がありました。ぜひご家庭でも「おはよう」「いってきます」「ただいま」など、気持ちのよいあいさつができるように声かけをお願いします。

学校ホームページでも児童の様子を公開中

敷島北小学校のホームページを更新しています。QRコードを読み取るとトップページが表示されますので、ぜひ子供たちの活動の様子が掲載された「お知らせ」をご覧ください。



個別懇談ありがとうございました

5月7日から14日までの個別懇談では、お忙しいところ貴重な時間をいただきありがとうございました。児童の様子などについて担任との情報交換を行いました。話し合った内容については、これからの教育活動に生かしていきたいと思います。

アメリカインディアンのお話

担任をしていたころ、学級経営の講演会で「子どもへの接し方」について話を聞く機会がありました。講師の話の中で「大人の過剰な関わり（親心）が子供の成長機会をなくしている」「子供の成長に合わせた関わり方が大事である」という言葉がすごく印象的でした。

これは講演会の資料にあった「アメリカインディアン（ネイティブアメリカン）の言葉」です。

- 【子育て四訓】
- ・乳児はしっかり、肌を離すな
 - ・幼児は肌を離せ、手を離すな
 - ・少年は手を離せ、目を離すな
 - ・青年は目を離せ、心を離すな



人は、出会った人や言葉と触れ合うことで成長や人格形成がなされていくものです。家庭において、子は親の鏡であるのと同様に、学級では担任（教師）の鏡なのかもしれません。

子どもたちは、こうして生き方を学びます。

- ・批判ばかり受けて育った子は、人をけなすようになります。
- ・いがみあう家庭で育った子は、人と争うようになります。
- ・恐れのある家庭で育った子は、びくびくするようになります。
- ・かわいそうだと哀れんで育てられた子は、自分が哀れな人間だと思うようになります。
- ・ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります。
- ・親が他人に対して嫉妬ばかりしていると、子どもも人を羨むようになります。
- ・侮辱されたりけなされて育った子は、自分に自信を持てなくなります。
- ・励まされて育った子は、自信を持つようになります。
- ・寛大な家庭で育った子は、我慢することを学びます。
- ・ほめられて育った子は、感謝することを学びます。
- ・心から受け入れられて育った子は、愛することを学びます。
- ・認められて育った子は、自分が好きになります。
- ・子どものなしとげたことを認めてあげれば、目的を持つことの素晴らしさを学びます。
- ・分かち合う家庭で育った子は、思いやりを学びます。
- ・正直な家庭で育った子は、誠実であることの大切さを学びます。
- ・公明正大な家庭で育った子は、正義を学びます。
- ・やさしさと、思いやりのある家庭で育った子は、他人を尊敬することを学びます。
- ・安心できる家庭で育った子は、自らを信じ人をも信じられるようになります。
- ・和気あいあいとした家庭で育った子は、この世の中はいいところだと思えるようになります。